

令和元年 第11回 蕨市教育委員会（定例会） 会議録

招集期日	令和元年10月23日(水)		
場所	蕨市役所 4階 第一委員会室		
開閉の時間	午後2時から午後2時20分まで		
議長	松本隆男 教育長		
出席委員	1番 加藤正明 委員	2番 飯野朗子 委員	4番 小島奈津子 委員
議事参与者	教育部長 渡部幸代	教育部次長・学校教育課長 原田卓治	教育総務課長 田中昌継
	生涯学習スポーツ課長 松永祐希	中央公民館長 加納克彦	図書館長 佐藤昌史
	歴史民俗資料館長 佐藤直哉	学校給食センター所長 越正男	西公民館長 星野尚子
	南公民館長 野田智之	北町公民館長 鈴木啓文	下蕨公民館長 大山麻美子
	学校教育課指導係長 松永由美子	旭町公民館長(指定管理者) 井田誠	
書記	教育総務課庶務係長 渡邊浩介		

	会 議 事 件 名	議 事
議 事 進 行 状 況	<p>報告 1 令和元年度 蕨市における「彩の国教育の日」に係る取組実施予定について</p> <p>報告 2 令和元年度 第 3 6 回蕨市けやき文化賞について</p> <p>報告 3 オータムギャラリー 2 0 1 9 「新指定文化財展」の開催について</p>	<p>開会宣言された後、前回の会議録の承認が行われ、直ちに報告に入る。</p> <p>令和元年度蕨市における「彩の国教育の日」に係る取組実施予定について、埼玉県では教育に対する関心と理解をいっそう深める機会として、毎年 11 月 1 日を彩の国教育の日、11 月 1 日から 7 日までを彩の国教育週間としている。蕨市でも、彩の国教育の日の前後 1 か月程度の間、各小・中学校での学校公開週間をはじめ、家庭、学校、地域社会の連携の下、各小・中学校及び各課所館で教育に関するさまざまな取り組みを実施しているとの報告が、学校教育課長からなされた。</p> <p>[質問] 念のための確認ですが、学校公開の際は、保護者だけでなく地域の皆さまにも自由に授業などを御覧いただけるということでよろしいでしょうか。 [回答] そのとおりです。受付名簿に氏名等をご記入いただいた上で参観いただいております。</p> <p>第 36 回蕨市けやき文化賞については、9 月 27 日(金)の選考委員会で、北町在住のミュージシャン・坂田明氏が受賞者に決定した。坂田氏は、昭和 20 年に広島県呉市で誕生。昭和 44 年に上京後、アルトサックス奏者として、さまざまなグループで活動し、日本のみならず、アメリカやヨーロッパなどでも活躍している。蕨市では、平成 12 年に市内 7 公民館による主催事業で講演・演奏いただいたほか、平成 29 年から 3 年連続で蕨市民音楽祭に出演し、イベントを盛り上げていただいた。ご自身の技術を惜しみなく発揮し、芸術のすばらしさや魅力を伝え、市民の芸術文化の振興に貢献されていることが、今回の受賞理由となっている。受賞式は 11 月 2 日(土)の市制施行 60 周年記念式典とあわせ、市民会館で執り行われるとの報告が、生涯学習スポーツ課長からなされた。</p> <p>オータムギャラリー 2019「新指定文化財展」では、平成 30 年度に指定した蕨宿岡田本陣家資料群など 4 件の新指定文化財を、所蔵者のご理解・ご協力の下、展示公開する。会期は 10 月 26 日(土)から 12 月 15 日(日)までであるとの報告が、歴史民俗資料館長からなされた。</p>

議 事 進 行 状 況		<p>以上3件の報告の後、教育長より、報告4は議会提出案件に関連するものであるため、蕨市教育委員会会議規則第14条の規定により、「公開しないもの」としたいとの提案があり、委員から異議なく承認された。</p> <p>【以下、非公開案件についての会議録】</p> <p>学校給食費の改定についての検討状況を報告する。改定を必要とする主な理由としては、蕨市では平成26年度に学校給食費を改定したが、消費増税に伴う改定を除くと平成4年度以降据え置いたままで、小・中学校ともに低水準であること、給食用食材の値上げが続き、特に主食や牛乳の価格上昇により副食に充てられる割合が年々減少していること、平成30年8月の学校給食摂取基準の一部改正に伴い、栄養摂取基準が見直されたことなどが挙げられる。こうした背景を受け、学校給食センター運営委員会で審議を重ねた結果、改定については妥当であるとの結論に達した。副食費を前回改定時の水準まで回復させる必要があると判断し、小学校は420円増の月額4,200円・1食単価256円、中学校は364円増の月額4,900円・1食単価301円とするもので、令和2年4月1日からの改定を考えている。内容については、保護者を対象に9月に実施した意見聴取において多数のご賛同をいただくとともに、運営委員からは「給食の質的向上につながり、食べ残しが減ることを期待したい」、「手作り弁当でもこの金額では作れない」、「安全安心でバランスのとれた給食のために改定はやむを得ない」などのご意見をいただいた。こうした声を受け止めながら、改定の効果を実感していただけるよう、いっそうの充実を図っていきたい。なお、改定に当たっての規則の一部改正については、次回の定例教育委員会の議題としてご審議いただく予定であるとの報告が、学校給食センター所長からなされた。</p> <p>[質問] 消費税率が10%になったことを踏まえても、適切なサービスを提供する上で支障はないと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>[回答] はい。今回の改定では、増税の影響も加味した金額設定としております。</p>
--	--	--